

第1号議案

平成30年度事業報告及び収支決算報告について

平成30年度事業報告の概要について

大杉谷登山歩道では、4月20日にオープニングセレモニーを行いました。

11月25日までの期間中に、1580パーティ3913人の登山届の提出があり、入山者数は6889人（前年比97%）でした。原因として、ゴールデンウィークの天候不順や、大型台風の接近により、登山者数が落ち込んだものと思われます。また、インターネット上のシステムを使って入山届を提出している方の増加、日帰り入山者（マイカー）の増加により、入山届の提出率が悪化しており、対策を考える必要があります。

以下、登山センター業務について報告します。

事業内容

1. 自然保護及び美化清掃の啓発

昨年度に引き続き環境省の「平成30年度グリーンワーカー事業（吉野熊野国立公園大杉谷登山道清掃業務）」を活用し、登山歩道の環境整備に努めました。今年度はグリーンワーカー事業として登山道の清掃を3回実施し、計5日間で、延べ60人の活動となりました。

堂倉避難小屋は、今シーズンも栗谷小屋管理人に協力していただき、管理及び清掃を行いました。堂倉避難小屋の横に2度焚火跡が出来ていたため、撤去しました。

SNS や登山センター主催のイベントを活用して登山者へ自然保護及び美化清掃の啓発を行いました。登山センター主催のイベントではゴミ袋を配布し、美化清掃に協力していただくことで当事者意識が生まれ、啓発に繋がっ

たと感じています。

2. 大杉谷登山歩道の維持管理業務の受託

大杉谷登山歩道の維持管理業務を三重県より受託し、日出ヶ岳山頂から第三発電所登山口までの歩道区間において、月4回以上のパトロールや登山歩道の軽微な補修、台風後の安全確認、倒木の処理、表示看板や東屋等の施設の損傷等の点検、スズメバチの巣の撤去を行いました。

歩道の簡易な修繕については、関係者の皆様にご協力いただき実施した「大杉谷登山歩道関係者整備」や一般の参加者を募った「ボランティア整備プロジェクト」のほか、通常のパトロールによって随時対応致しました。

また、環境省の直轄管理となる平等嶮吊橋と取付歩道300mの維持管理は、環境省から業務を受託し、点検パトロールや登山歩道の軽微な補修、登山者への安全啓発を行いました。

今年は、台風21号など大きな台風が立て続けに来たため、平成26年の全線開通以降では最も登山道が損傷しました。通行可能な状態まで整備しましたが、職員やアルバイトが作業するレベルではない危険な作業（根返った木の伐倒、かかり木の伐倒など）も多く、登山センター業務として対応する範囲について、今後の検討課題であると考えます。受託者として責任を持つ「軽微な補修」はどの水準であるのか、また、アルバイトで整備をお願いしている方にどこまでの作業（チェーンソーの使用や高所・危険個所での作業）をさせていくのか、労働災害が起こった場合の補償含めて、事故が発生するまでに、見直しが必要です。

3. 安全登山の啓発

第三発電所登山口及び大台ヶ原駐車場において、登山計画書の提出及び看板や、チラシ配布等により積極的に事故の防止の啓発に努めました。毎月1

0回程度、大台警察署大杉谷駐在所と連携して大杉谷自然の家前にて啓発活動を行いました。また、エスパール交通の登山バス運行日は登山届を直接回収することで安全登山を呼びかけました。

4. 大杉谷 PR 事業

登山センターホームページやSNSを有効に活用し大杉谷登山歩道の最新の状況を登山者等に提供することで事故防止の啓発に努めました。

大台町観光協会などの町内事業所や、三重県が行っている三重まるごと自然体験事業と連携して各種イベントに出展するとともに、テレビ番組や雑誌等のメディアを活用し、大杉谷のPR活動を行いました。

SNSの活用には、facebook や instagram をホームページと連動させるとともに、こまめな情報の更新と発信を行っています。

また、ホームページを作成した際に Google アナリティクスを導入し、ホームページの閲覧状況の分析を行うことで効果的なPRを行えるよう、デジタルマーケティングに取り組みました。

分析により、年々、関東地方からの登山者や外国人登山者の増加が見られ、PRの効果が感じられます。今後はPR活動とともに、受け入れ体制をしっかりと整えていく作業を行っていきます。

また、閉山後は次年度のプロモーションに向けてSNS及びWebサイトの見直し、メールマガジンサービスからLINE@への移行作業を行いました。

5. 山岳遭難事故への対応

今年度の山岳遭難事故は警察及び消防の出動案件は、5件ありましたが(重傷4件、軽傷1件)、山岳救助隊の出動はありませんでした。

なお、大杉谷登山歩道ではありませんが、堂倉谷での事故が1件発生して

います。

6. イベントの開催

今シーズンは、登山道整備関係のイベントのみ実施しました。

ボランティア整備プロジェクトでは、堂倉滝～大台林道区間の階段作りや色褪せた道標の色塗りを実施しました。県内外から多数の申し込みがあり、毎回定員を上回る人気のイベントとなっています。

関係者整備では、大杉谷登山道の関係者（地元ガイド、山岳救助隊、三重県警察本部山岳救助係、大台警察署、奥伊勢消防署、環境省、三重県、大台町）にお集まりいただき、シシ淵の巨木撤去、沖見沢～崩壊地及びシシ淵の滑り止めモルタル施工を実施しました。

参加者の皆様のおかげで、登山センターのみでは手が回らない箇所の整備を行うことができました。特にシシ淵に関しては、ここ数年事故が続いている箇所でもあるので、事故防止にも貢献できたものと考えています。

イベント一覧

7/7,8	ボランティア整備プロジェクト	主催	台風接近のため中止
9/8,9	ボランティア整備プロジェクト	主催	台風接近のため中止
9/27,28	大杉谷登山歩道関係者整備	主催	催行
11/3,4	ボランティア整備プロジェクト	主催	催行

7. 収益事業について

登山者の利便性を図るための登山用品や地元産物等の委託販売や記念品等の自主販売を行いました。また、登山に伴うCO₂の排出削減について啓発するカーボンオフセットピンバッジに引き続き、「カーボンオフセット大杉谷ザックカバー」の委託販売を行いました。

その他、安全登山啓発の一環としてプライベートガイドの紹介を行い、ガ

イト料の一部から環境保全費を頂きました。また、ボランティア整備イベントの参加者からも環境保全費を頂きました。

しかしながら、本来であれば公益事業の資金を補てんするための収益事業であるにもかかわらず赤字見込みとなっているため、今後、収益事業の在り方について検討する必要があります。

8. 寄付金

登山口付近の大日トイレを維持していくための寄付金箱を設置し、トイレ使用者からの寄付金を募りました。

平成30年度 トイレ寄付収入 (平成31年3月31日現在)

寄付金収入	金額
トイレ寄付金	78,075円